

平成20年2月期 第3四半期財務・業績の概況

平成19年12月26日

上場会社名 バンダイビジュアル株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 4325 URL <http://www.bandavisual.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川城 和実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 藤川 正之 TEL (03) 6252-3377
 経営・管理セクションリーダー

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年2月期第3四半期の連結業績 (平成19年3月1日 ~ 平成19年11月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年2月期第3四半期	19,273	△4.4	1,572	△31.2	1,657	△29.9	618	△51.4
19年2月期第3四半期	20,156	—	2,284	—	2,364	—	1,271	—
19年2月期	32,189	—	4,845	—	4,933	—	2,775	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年2月期第3四半期	4,294	22	—	—
19年2月期第3四半期	8,828	63	—	—
19年2月期	19,274	64	—	—

※平成19年2月期より連結財務諸表を作成しているため、19年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年2月期第3四半期	21,624		14,899		65.4		98,143	79
19年2月期第3四半期	20,064		13,468		64.7		90,166	37
19年2月期	25,155		14,977		57.4		100,260	58

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年2月期第3四半期	△557		△673		△843		6,001	
19年2月期第3四半期	619		△3,976		△1,078		5,306	
19年2月期	4,214		△5,281		△1,078		7,596	

2. 平成20年2月期の連結業績予想(平成19年3月1日～平成20年2月29日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	34,000	5.6	4,750	△2.0	4,900	△0.7	2,650	△4.5	18,402	78

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社(社名 BANDAI VISUAL USA INC.) 除外 0社
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項の内容については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景に景気は穏やかな回復基調に推移しているものの、米国景気下振れ懸念や原油高による物価上昇などから、景気回復の実感はきわめて弱くなっております。

当社グループが属する、映像・音楽を取り巻く事業環境といたしましては、今冬より次世代ディスク（ブルーレイ・ディスク、HD DVD）の録再生機が10万台での発売となり、2007年11月のDVDレコーダー全体の販売に占める次世代機のシェアも増加傾向にあります。また、ハイビジョン薄型テレビの普及が拡大傾向にあり、高画質の録画需要が今後も高まると推測されます。

当社グループの売上高の大半を占める映像パッケージソフト業界における2007年1月から9月までの市場全体売上高は、2,226億円と前年同期と比較して、97.3%へ減少しております。主な要因としては、洋画ジャンルの売上高が前年同期比19.3%減少したことが挙げられます。（注1）

また、音楽パッケージソフト業界におきましては、2007年1月から9月までの生産実績金額は2,359億円と、前年同期比を6%下回る結果となっております。しかし、有料音楽配信売上実績金額は553億円と、前年同期比44%の増加となり、インターネット配信によるノンパッケージマーケットは、確実に拡大しております。（注2）

このような状況の中、当社グループの当第3四半期の連結の業績は、売上高192億73百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益15億72百万円（前年同期比31.2%減）、経常利益16億57百万円（前年同期比29.9%減）、四半期純利益6億18百万円（前年同期比51.4%減）となりました。いずれも前年同期の実績を下回る結果となりましたが、主に当初の業績予想時において重点商品の発売が、第4四半期となっていることによるものです。

- (注) 1. 社団法人日本映像ソフト協会「2007年ビデオソフト月間売上速報」より
2. 社団法人日本レコード協会「2007年レコード生産実績」より

事業別の売上高実績

事業部門	売上高（百万円）	構成比（%）
パッケージソフト事業	17,439	90.5
ライセンス事業	1,834	9.5
合計	19,273	100.0

[パッケージソフト事業]

当セグメントにつきましては、前期より好調なTVアニメーション「コードギアス 反逆のルルーシュ」、オリジナルアニメーション「FREEDOM」などのシリーズ商品に加え、劇場アニメーション「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ歌うケツだけ爆弾！」や新作オリジナルアニメーション「装甲騎兵ボトムズ ペールゼン・ファイルズ」等が好調に推移しました。これら映像パッケージソフトに加え、音楽パッケージソフトとしては、上期より引き続き、「らき☆すた」関連のCDや、茅原実里のアルバムCD「Contact」等が好調に推移しました。しかしながら、当期発売の映像パッケージソフトの一部が、計画を下回る結果となりました。

この結果、パッケージソフト事業の当第3四半期の売上高は、174億39百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

[ライセンス事業]

当セグメントにつきましては、国内映像ライセンスにおいて、TVアニメーション「電脳コイル」の放送権配分収入や、同じくTVアニメーション「スーパーロボット大戦OG ディバイン・ウォーズ」や「攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX」の商品化権配分収入が大きく貢献しました。海外映像ライセンスにおいては、劇場アニメーション「メトロポリス」や「COWBOY BEBOP 天国の扉」が売上に貢献し、国内・海外共に年初予想を上回る結果となりました。音楽ライセンスについても、音楽著作権印税売上が好調に推移し、ライセンス事業の当第3四半期の売上高は18億34百万円（前年同期比28.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 当第3四半期連結会計期間末の総資産、負債、純資産の概況

総資産につきましては、主に現金及び預金、売掛金の減少等により216億24百万円となりました。

負債につきましては、主に買掛金、未払法人税等の減少等により67億25百万円となりました。

純資産は148億99百万円となり、自己資本比率は65.4%となりました。

② 当第3四半期末までのキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末までの営業活動によるキャッシュ・フローは、5億57百万円の支出となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が16億51百万円ありましたが、仕入債務の減少が27億94百万円、法人税等の支払額が16億58百万円等あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末までの投資活動によって使用した資金は、6億73百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が5億72百万円、無形固定資産の取得による支出が1億12百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末までの財務活動によって使用した資金は、8億43百万円となりました。これは配当金の支払によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の今後の映像パッケージソフト展開につきましては、当時のオリジナル音声を収録した「機動戦士ガンダム 劇場版 メモリアルボックス」が12月に発売となり、また翌年1月には、10月より放送が開始されました新作TVアニメーション「機動戦士ガンダム00 (ダブルオー)」が発売となります。2月には「宇宙戦艦ヤマト TV DVD-BOX」も発売する予定であります。また、より高品質な映像を提供するために、ブルーレイ・ディスクやHD DVDについても展開を進めてまいります。

音楽パッケージソフトにつきましても、新作アニメーションに加え、「涼宮ハルヒの憂鬱」や「らき☆すた」等の優良コンテンツを活かしたCDの製作や、JAM Projectの海外でのライブツアーをはじめ、人気アーティストの商品展開も行なって参ります。

この結果、通期の連結業績予想は、平成19年9月26日に発表いたしました通り、売上高340億円、営業利益47億50百万円、経常利益49億円、当期純利益26億50百万円となる見通しであります。

(通期の見通しに関する注意事項)

前述の業績等の通期見通しは、現在入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、リスクや不確実性を内包しております。従いまして、消費動向や経済環境の変化等により、実際の業績はこれらの見通しから異なる結果となる可能性があります。

(株式会社バンダイナムコホールディングスによる完全子会社化について)

当社は、平成19年11月8日に当社の親会社である株式会社バンダイナムコホールディングス（以下、バンダイナムコホールディングスという。）が、完全子会社化を企図した当社株式の公開買付けを行なう決定に対し、同日開催の当社取締役会にて賛同表明を決議いたしました。当該公開買付け期間末日の翌日である平成19年12月11日には、バンダイナムコホールディングスより、当社株式134,824株、議決権割合で93.63%を保有した旨公表されました。また、平成19年12月17日開催の当社取締役会では、当社を完全子会社化とするバンダイナムコホールディングスによる株式交換について決議し、同日株式交換契約を締結いたしました。本株式交換の効力発生日は、平成20年2月21日を予定しており、当該効力発生日に先立ち、平成20年2月15日をもって当社は株式会社東京証券取引所において上場廃止となる予定です。（本株式交換の詳細については、平成19年12月17日公表の当社資料をご参照下さい。）

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

BANDAI VISUAL USA INC. は、平成19年8月31日に増資が行なわれ、資本金が US\$4,000千となったため、特定子会社となりました。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上方法について見積実効税率を適用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得したものについては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。なお、この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結会計期間の減価償却費は52,396千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ52,396千円減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【第3四半期連結貸借対照表】

区分	前第3四半期 連結会計期間末 (平成18年11月30日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成19年11月30日)		増減		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年2月28日)	
	金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)	増減率(%)	金額(千円)	
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金		5,306,456		6,001,495	695,039	13.1		7,596,807
2. 売掛金		3,698,159		2,843,343	△854,815	△23.1		5,520,960
3. たな卸資産		743,107		985,470	242,362	32.6		732,837
4. 繰延税金資産		547,981		411,257	△136,724	△25.0		572,886
5. 前渡金		3,092,469		3,882,694	790,224	25.6		3,051,068
6. 親会社に対する短期 貸付金		3,000,000		4,000,000	1,000,000	33.3		4,000,000
7. その他		283,321		421,199	137,877	48.7		205,307
貸倒引当金		△5,574		△10,110	△4,535	81.4		△10,484
流動資産合計		16,665,922		18,535,350	1,869,428	11.2		21,669,383
II 固定資産								
1. 有形固定資産		762,791		914,037	151,246	19.8		727,441
2. 無形固定資産		870,688		796,839	△73,849	△8.5		846,034
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	1,020,185		1,004,776				1,007,308	
(2) 関係会社株式	406,803		—				527,533	
(3) 長期貸付金	63,595		57,439				62,295	
(4) 繰延税金資産	32,141		53,519				71,745	
(5) その他	345,313		359,009				344,755	
貸倒引当金	△102,700	1,765,338	△96,281	1,378,462	△386,875	△21.9	△101,400	1,912,238
固定資産合計		3,398,817		3,089,339	△309,478	△9.1		3,485,713
資産合計		20,064,739		21,624,690	1,559,950	7.8		25,155,097

区分	前第3四半期 連結会計期間末 (平成18年11月30日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成19年11月30日)		増減		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年2月28日)
	金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)	増減率(%)	
(負債の部)							
I 流動負債							
1. 支払手形及び買掛金	4,458,546		4,245,230	△213,315	△4.8		6,992,968
2. 未払法人税等	276,161		310,288	34,127	12.4		1,307,926
3. 役員賞与引当金	42,401		80,068	37,666	88.8		85,588
4. その他	1,213,918		1,469,678	255,760	21.1		1,174,665
流動負債合計	5,991,027		6,105,265	114,237	1.9		9,561,149
II 固定負債							
1. 役員退職慰労引当金	216,369		—	△216,369	△100.0		228,180
2. その他	388,931		620,012	231,081	59.4		387,974
固定負債合計	605,300		620,012	14,712	2.4		616,154
負債合計	6,596,328		6,725,278	128,950	2.0		10,177,304
(純資産の部)							
I 株主資本							
1. 資本金	2,182,500		2,182,500	—	—		2,182,500
2. 資本剰余金	1,214,500		1,214,500	—	—		1,214,500
3. 利益剰余金	9,400,441		10,583,155	1,182,713	12.6		10,904,665
株主資本合計	12,797,441		13,980,155	1,182,713	9.2		14,301,665
II 評価・換算差額等							
1. その他有価証券評価差額金	186,517		140,235	△46,282	△24.8		135,857
2. 為替換算調整勘定	—		12,316	12,316	—		—
評価・換算差額等合計	186,517		152,551	△33,966	△18.2		135,857
III 少数株主持分	484,452		766,705	282,252	58.3		540,269
純資産合計	13,468,411		14,899,411	1,431,000	10.6		14,977,792
負債純資産合計	20,064,739		21,624,690	1,559,950	7.8		25,155,097

(2) 【第3四半期連結損益計算書】

区分	前第3四半期連結会計期間 (自平成18年3月1日 至平成18年11月30日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成19年3月1日 至平成19年11月30日)		増減		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成18年3月1日 至平成19年2月28日)	
	金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	
I 売上高		20,156,659		19,273,959	△882,699	△4.4		32,189,453
II 売上原価		13,040,218		12,630,089	△410,129	△3.1		20,744,583
売上総利益		7,116,440		6,643,870	△472,570	△6.6		11,444,870
III 販売費及び一般管理費		4,831,751		5,071,450	239,698	5.0		6,598,893
営業利益		2,284,688		1,572,420	△712,268	△31.2		4,845,976
IV 営業外収益		84,750		101,113	16,363	19.3		92,902
V 営業外費用		5,364		16,503	11,139	207.7		5,409
経常利益		2,364,074		1,657,030	△707,044	△29.9		4,933,470
VI 特別利益		8,800		6,668	△2,131	△24.2		10,150
VII 特別損失		4,069		11,860	7,791	191.5		4,741
税金等調整前四半期 (当期)純利益		2,368,805		1,651,838	△716,966	△30.3		4,938,878
法人税、住民税及び 事業税	907,982		659,376				1,947,896	
法人税等調整額	72,148	980,130	176,862	836,238	△143,891	△14.7	42,266	1,990,162
少数株主利益		117,350		197,231	79,880	68.1		173,167
四半期(当期)純利益		1,271,324		618,368	△652,956	△51.4		2,775,548

(3) 【第3四半期連結株主資本等変動計算書】

前第3四半期連結会計期間（自平成18年3月1日 至平成18年11月30日）

	株主資本				評価・換算 差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金		
平成18年2月28日 残高 (千円)	2,182,500	1,214,500	8,956,221	12,353,221	218,217	—	12,571,438
四半期連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当 (千円)			△720,000	△720,000			△720,000
役員賞与 (千円)			△61,700	△61,700			△61,700
四半期純利益 (千円)			1,271,324	1,271,324			1,271,324
連結子会社の合併による剰余金の減少 (千円)			△45,403	△45,403			△45,403
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額 (純額) (千円)					△31,700	484,452	452,752
四半期連結会計期間中の変動額合計 (千円)	—	—	444,220	444,220	△31,700	484,452	896,972
平成18年11月30日 残高 (千円)	2,182,500	1,214,500	9,400,441	12,797,441	186,517	484,452	13,468,411

当第3四半期連結会計期間(自平成19年3月1日 至平成19年11月30日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成19年2月28日 残高 (千円)	2,182,500	1,214,500	10,904,665	14,301,665
四半期連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当 (千円)			△792,000	△792,000
四半期純利益 (千円)			618,368	618,368
連結子会社の増加による剰余金の減少高 (千円)			△147,878	△147,878
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額(純額) (千円)				
四半期連結会計期間中の変動額合計 (千円)	—	—	△321,510	△321,510
平成19年11月30日 残高 (千円)	2,182,500	1,214,500	10,583,155	13,980,155

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年2月28日 残高 (千円)	135,857	—	135,857	540,269	14,977,792
四半期連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当 (千円)					△792,000
四半期純利益 (千円)					618,368
連結子会社の増加による剰余金の減少高 (千円)					△147,878
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額(純額) (千円)	4,377	12,316	16,693	226,435	243,129
四半期連結会計期間中の変動額合計 (千円)	4,377	12,316	16,693	226,435	△78,381
平成19年11月30日 残高 (千円)	140,235	12,316	152,551	766,705	14,899,411

前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書 (自平成18年3月1日 至平成19年2月28日)

	株主資本				評価・換算 差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金		
平成18年2月28日 残高 (千円)	2,182,500	1,214,500	8,956,221	12,353,221	218,217	—	12,571,438
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当 (千円)			△720,000	△720,000			△720,000
役員賞与 (千円)			△61,700	△61,700			△61,700
当期純利益 (千円)			2,775,548	2,775,548			2,775,548
連結子会社の合併による剰余金の減少 (千円)			△45,403	△45,403			△45,403
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) (千円)					△82,360	540,269	457,909
連結会計年度中の変動額合計 (千円)	—	—	1,948,444	1,948,444	△82,360	540,269	2,406,353
平成19年2月28日 残高 (千円)	2,182,500	1,214,500	10,904,665	14,301,665	135,857	540,269	14,977,792

(4) 【第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

区分	前第3四半期連結会計期間 (自 平成18年3月1日 至 平成18年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)	前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期)純利益	2,368,805	1,651,838	4,938,878
減価償却費	283,235	466,418	426,549
連結調整勘定償却額	86,782	—	115,710
のれん償却額	—	86,782	—
諸引当金の増減額	71,158	△247,703	129,767
受取利息及び受取配 当金	△59,601	△77,581	△63,769
支払利息	2,765	—	2,765
固定資産売却損益	—	542	—
固定資産除却損	4,069	4,460	4,741
投資有価証券評価損	—	6,511	—
投資有価証券売却損 益	—	345	—
匿名組合損失	—	2,207	—
売上債権の増減額	450,730	2,712,580	△1,372,070
たな卸資産の増減額	△84,740	△219,809	△74,470
前渡金の増減額	89,747	△822,188	131,149
未収入金の増減額	△88,550	△184,147	△33,436
前払費用の増減額	30,301	△20,814	38,496
仕入債務の増減額	100,378	△2,794,127	2,634,800
未払金の増減額	△473,818	85,586	△668,855
未払費用の増減額	△54,164	△73,302	8,606
前受金の増減額	△323,492	164,214	△215,787
差入保証金の増減額	△2,815	△12,156	△2,300
預り保証金の増減額	15,454	△12,308	14,498
役員賞与の支払額	△61,700	—	△61,700
その他	△74,394	305,750	△71,641
小計	2,280,152	1,023,098	5,881,930
利息及び配当金の受 取額	59,601	77,581	61,069
利息の支払額	△2,765	—	△2,765
法人税等の支払額	△1,717,117	△1,658,196	△1,725,266
営業活動によるキャッ シュ・フロー	619,870	△557,516	4,214,967

区分	前第3四半期連結会計期間 (自 平成18年3月1日 至 平成18年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)	前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△313,781	△572,356	△400,346
有形固定資産の売却による収入	6,636	1,660	6,636
無形固定資産の取得による支出	△316,750	△112,143	△343,092
無形固定資産の売却による収入	250	—	250
投資有価証券の取得による支出	△1,276	△970	△73,685
投資有価証券の売却による収入	—	4,015	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△98,418	—	△98,418
関係会社株式の取得による支出	△296,280	—	△417,010
出資による支出	△3,000	—	△3,000
親会社への短期貸付けによる支出	△3,000,000	—	△4,000,000
短期貸付金の回収による収入	37,090	—	37,090
長期貸付金の回収による収入	8,800	5,890	10,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,976,731	△673,904	△5,281,477

区分	前第3四半期連結会計期間 (自 平成18年3月1日 至 平成18年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)	前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の返済による支出	△215,280	—	△215,280
長期借入金の返済による支出	△142,880	—	△142,880
配当金の支払額	△720,000	△792,000	△720,000
少数株主への配当金の支払額	—	△51,950	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,078,160	△843,950	△1,078,160
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△5,702	—
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額	△4,435,021	△2,081,074	△2,144,669
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	9,719,979	7,596,807	9,719,979
Ⅶ 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	485,762	—
Ⅷ 連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増加額	21,498	—	21,498
Ⅸ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,306,456	6,001,495	7,596,807

(参考) 最近における四半期ごとの業績の推移

平成20年2月期(連結)

	第1四半期 19年3月～19年5月	第2四半期 19年6月～19年8月	第3四半期 19年9月～19年11月
売上高	百万円 5,543	百万円 7,781	百万円 5,948
売上総利益	1,896	2,993	1,753
営業利益	416	1,240	△84
経常利益	481	1,256	△81
税金等調整前四半期純利益	488	1,250	△87
四半期純利益	190	612	△184
1株当たり四半期純利益	円 1,321.09	円 4,252.35	円 △1,279.22
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	—	—	—
総資産	百万円 21,120	百万円 22,946	百万円 21,624
純資産	14,490	15,151	14,899
1株当たり純資産	円 96,435.71	円 100,519.24	円 98,143.79
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円 △1,112	百万円 546	百万円 8
投資活動による キャッシュ・フロー	△210	△235	△227
財務活動による キャッシュ・フロー	△627	—	△216
現金及び現金同等物 期末残高	6,128	6,448	6,001

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。